

小学校社会科単元計画【第5学年：日本の地域や気候】

【単元のねらい】地形や気候などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめ、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現することを通して、我が国の国土の地形や気候の概要を理解するとともに、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにする。

【単元のめあて】日本の地形や気候について調べ、日本のよさや生活する際のアドバイスをALTの先生に伝えよう。

【単元を通した学習問題】日本の地形や気候には、どのような特色があり、人々の暮らしにどのような影響を与えているか。

1時	【課題】日本の四季はどのように移り変わるのか。	【活動】四季の移り変わりの様子について、写真で比較し、気付いたことを出し合う。	【まとめ】日本は、四季が比較的是っきりしており、季節によって気温や降水量が大きく変化する。
2時	【課題】日本の地形にはどのような特色があるか。	【活動】鳥瞰図や地形図をもとに日本の山脈や平野、川などの特徴を調べる。	【まとめ】日本の国土には、多くの山地や山脈が見られ、また、山地が海岸までせまっているため、日本の川は短くて流れが急である。
3時	【課題】火山、梅雨と台風は暮らしにどのような影響を与えているか。	【活動】日本の火山噴火、つゆと台風によってどのような被害が起こったのか調べる。	【まとめ】日本には多くの火山があり、過去に大きな被害もでている。また、気候の特色としてつゆと台風があり、農業に必要な水をもたらすが、自然災害を引き起こす危険もある。
4時	【課題】日本の気候は地域によってどのように違うのか。	【活動】北海道と沖縄の冬の気温差を示す写真や地図から、日本の気候を調べる。	【まとめ】日本の国土は南北に長いので、同じ季節でも地域によって気候や降水量が大きく違う。
5時	【課題】気候と季節風には、どのような関わりがあるのか。	【活動】季節風が吹く仕組みや与える影響について調べる。	【まとめ】季節風は、冬の日本海側に多くの雪を降らせたり、夏の太平洋側でたくさんの雨を降らせたりする。

【単元のまとめ】日本には多くの山地や山脈があり、火山も多くあり、川は短くて流れが急である。また、日本の国土は南北に長いので、同じ季節でも地域によって気候や降水量が違う。また、つゆや台風、季節風も日本の気候や生活に大きな影響を与えている。

6時 【単元の振り返り】学習を振り返り、日本の地形や気候のよさとともに、注意が必要な自然災害を伝え合う。